



書初め大会 1/8



昨日、琴の音が流れおごそかな雰囲気の中で、「書初め大会」をしました。低学年は「硬筆」中・高学年は「毛筆」でした。姿勢を正して、心を静め、一画一画ていねいに書いている姿が印象的でした。昨年度まで「書写」の研究に取り組んできましたがその成果が発揮される作品が書けました。

『門松』

○門松は、神さまのための「目印」！

実は「神さま、迷わずにうちへ来てください！」という合図（サイン）です。お正月には「年神さま（としがみさま）」という、みんなに健康や幸せを届けてくれる神さまがやってきます。門松は、神さまが空から降りてくるときの目印になるアンテナのような役割をしています。

○門松に使われている「3つの植物」のひみつ

門松には、強くて縁起がいい（ラッキーな）植物が3つ使われています。

松（まつ）冬でもずっと緑色で、葉っぱが落ちないので「ずっと元気に長生きできますように」という願いがこめられています。

竹（たけ）まっすぐ、ものすごい速さでぐんぐん伸びるので「みんなが元気に大きく育ちますように」という意味があります。

梅（うめ）まだ寒い時期に、一番にきれいな花を咲かせます。「みんなに幸せなことが早く訪れますように」という願いです。

○竹の切り口が「笑ってる」！？

門松の竹を斜めに切った形をよく見てください。切り口が、まるで「笑ってる」みたいに見えませんか。これは「笑う門には福来る（いつも笑っていれば、幸せがやってくるよ）という言葉に合わせて、神さまにニコニコした気持ちで来てもらうためだそうです。

